



大阪科学・大学記者クラブ 御中

2015年5月27日

公立大学法人大阪市立大学広報室

Email: [t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp](mailto:t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp)

平成 26・27 年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」採択  
社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業 2  
「**アートの活用形?**」を開講します

大阪市立大学文学部は、2015年7月から2016年2月にかけて、社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル育成事業：「アートの活用形?」を実施します。この人材育成事業は、文化庁による「大学を活用した文化芸術推進事業」に昨年度より2年連続で採択されたもので、アートマネジメントの専門家を養成するユニークなプログラムです。



昨年の「こども熱帯音楽祭」の様子  
(photo: 仲川あい)



昨年の「釜ヶ崎オ!ペラ」の様子  
(photo: 仲川あい)

本プログラムの特徴である社会包摂型アートマネジメントとは、被災地や貧困地域、病院や障害者施設といった、問題を抱えたり社会から遠ざけられたりしている地域や施設において、アートを通して解決の道筋や回復の手立てを見出していくものです。

今年度のプログラムは、活動を持続可能にする基盤づくりに必要となるアートマネジメントの知識や技術を習得することに重点を置き、連続講座(6テーマ)とプロジェクト実践(4テーマ)に加えて、今年度は**実務の遂行にあたり重要な課題となる資金調達、評価、政策提言を集中的に学ぶゼミ(3テーマ)を新設**しています。プロジェクト実践では、昨年と同様、教育、医療、福祉、まちづくりなどの実践の現場で長期に渡り活動するNPO法人などと連携し、経験を積んだアートマネジャーの手がける**実際のプロジェクトに参加することで実践的な手法を学ぶ機会**を提供します。

閉塞感の強い現代社会の様々な課題と向き合い、アートによってそれらを突破していこうという試みに興味のある方は、ぜひご参加ください。

記

- 1 実施期間：2015年7月1日～2016年2月27日
- 2 主 催：大阪市立大学
- 3 共 催：NPO法人こえとことばとこころの部屋・NPO法人cobon タチヨナプロジェクト
- 4 協 力：NPO法人アーツプロジェクト・ブレーカープロジェクト・大阪アーツカウンシル・NPO法人アートNPOリンク
- 5 後 援：大阪府・大阪市・在大阪インドネシア共和国総領事館
- 6 助 成：平成27年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」



## 7. 社会包摂型アートマネジメント・プロフェッショナル講座（全6テーマ）

タイトル	日時	講師
①社会包摂型アートマネジメント	7月1日(水) 19:00-21:00	藤野一夫(神戸大学大学院国際文化学研究科教授) 中川眞(大阪市立大学大学院文学研究科教授)
②地域リサーチとアートプロジェクト	7月29日(水) 19:00-21:00	山田創平(京都精華大学人文学部総合人文学科准教授)
③評価:評価の目的と評価指標	8月26日(水) 19:00-21:00	大澤寅雄(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室准主任研究員)
④活動継続に向けたファンドレイジング:アート&ヘルス基金	9月30日(水) 18:30-20:30	岸本幸子(公益財団法人パブリックリソース財団代表理事・専務理事)
⑤プランニング:問題提起型アートプロジェクト	10月28日(水) 19:00-21:00	芹沢高志(P3 art and environment 統括ディレクター)
⑥実施プロセス:連鎖していく活動と課題	12月2日(水) 19:00-21:00	相澤久美(一般社団法人震災リゲイン代表理事)

■定員:各回30名

■会場:船場アートカフェ

大阪市中央区平野町1-5-7 辰野平野町ビル地下1階辰野ひらのまちギャラリー  
地下鉄堺筋線[北浜]駅5番出口から徒歩約5分

アクセス:<http://art-cafe.ur-plaza.osaka-cu.ac.jp/access.html#>

■申し込み方法:

氏名、年齢、職業、連絡先(電話番号/PCメールアドレス)、受講される講座日程を明記の上、[artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp](mailto:artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp)宛にメールでお申し込みください。

※予約は、各講座の5日前までをお願いします。

■受講料:全通し(6回)=5,000円/1回=1,000円

## 8. ゼミ(3コース×5コマ)

タイトル	期間	担当
①ファンドレイジング	2015年10月~	雨森信 (大阪市立大学文学部特任講師)
②評価:評価指標の想定と分析手法	2015年9月~	樋口貞幸 (アートNPOリンク事務局長/大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員)
③ポリシーメイキング	2015年7月~	中川眞 (大阪市立大学大学院文学研究科教授)

■定員:各コース10名

■会場:大阪市立大学 梅田サテライト

大阪市北区梅田1丁目2-2 大阪駅前第2ビル6階

JR東西線「北新地」駅より徒歩3分/「大阪」駅より徒歩10分

地下鉄四つ橋線「西梅田」駅より徒歩5分/御堂筋線「梅田」駅より徒歩10分/  
谷町線「東梅田」駅より徒歩10分

アクセス:<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/about/university/access>

■申し込み方法:

氏名、年齢、職業、連絡先(電話番号/PCメールアドレス)、希望されるゼミのコースを明記のうえ、受講の動機と抱負(400~800字)と共に、6月25日(木)までに  
[artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp](mailto:artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp)宛にメールでお申し込みください。  
(申し込み条件がありますので、添付資料を必ずお読みください。)

■受講料:1コース=5,000円/2コース=8,000円/3コース=10,000円

## 9. プロジェクト実践

タイトル	期間	担当
A：医療安全のためのアート&デザインプロジェクト	2015年9月～ 2016年2月	アーティスト：井上由季子 講師：森合音 連携先：大阪市立大学医学部附属病院
B：こども熱帯音楽祭 #04	2015年7月 ～9月	アーティスト：梅田哲也、PIKA☆ 講師：小島剛 連携先：NPO法人 cobon タチョナプロジェクト
C：地域に根ざした創造活動拠点の実験2	2015年8月～ 2016年2月	アーティスト：きむらとしろうじんじん ほか 講師：松尾真由子 連携先：ブレーカープロジェクト
D：釜ヶ崎オ！ペラ2	2015年10月～ 2016年2月	アーティスト：パッ・ニョト、野村誠 ほか 講師：上田假奈代 連携先：NPO法人こえとことばとこころの部屋（ココルーム）

■定員：各プロジェクト4～5名程度

■会場：連携先の実践現場（プロジェクトによって異なります。）

■申し込み方法：

氏名、年齢、職業、連絡先（電話番号/PCメールアドレス）、希望されるプロジェクト実践を明記のうえ、受講の動機と抱負（400～800字）と共に、6月25日（木）までに artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp 宛にメールでお申し込みください。（申し込み条件がありますので、添付資料を必ずお読みください。）

■受講料：無料（講座・ゼミ受講必須）

## 10. フォーラム

■日時：2016年2月27日（予定）

■会場：調整中

### 【本件に関するお問合せ先】

大阪市立大学 文学部 AMP 事務局  
担当：雨森（あめのもり）  
TEL：06-6605-2026（月水金 10:00～16:00）  
E-mail：artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp

### 【報道に関するお問合せ先】

大阪市立大学 広報室 担当：松木  
TEL：06-6605-3410  
FAX：06-6605-3572  
E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp



受講を希望される皆様へ

## 講座

どなたでも受講していただけます(1回限りの受講も可)。

- 定員 | 各回 30名
- 会場 | 船場アートカフェ
- 受講料 | 全6回通し=5,000円 / 1回=1,000円

### 【講座 | 申し込み方法】

氏名、年齢、職業、連絡先(電話番号/PCメールアドレス)、受講される講座日程を明記の上、問い合わせ先にメールでお申し込みください。

- ご予約は、各講座の5日前までをお願いします。

## ゼミ/プロジェクト実践

アートの領域のみならず、教育、福祉、医療、まちづくり等の現場で、アートを活用した取り組みをされている方、行政や企業の文化担当の方などを主な対象者とします。学生の場合、大学院生以上とします。

### 【ゼミ | 受講条件】

- 講座(3コマ以上)を受講してください。
- 各コースでは、全5回とも通して出席していただくことを基本条件とします(複数選択も可)。
- 定員 | 各コース 10名
- 会場 | 大阪市立大学 梅田サテライトほか
- 受講料 | 1コース=5,000円 / 2コース=8,000円 / 3コース=10,000円

### 【プロジェクト実践 | 受講条件】

- 講座(3コマ以上)、ゼミ(1コース以上)を受講してください。
- プロジェクト実践では、プロジェクトを1つ選択し、全回とも通して出席していただくことを基本条件とします(複数選択も可)。
- 定員 | 各プロジェクト4~5名程度
- 会場 | 連携先の実践現場(プロジェクトによって異なります)
- 受講料 | 無料(講座・ゼミ受講必須)

### 【ゼミ/プロジェクト実践 | 申し込み方法】

氏名、年齢、職業、連絡先(電話番号/PCメールアドレス)、希望されるゼミのコース、またはプロジェクト実践を明記の上、それぞれの受講の動機と抱負(400~800字)と共に、6月25日[木]までに問い合わせ先にメールでお申し込みください。

※定員オーバーした場合は希望に添えない場合もあります。

## 問い合わせ先

大阪市立大学文学部内 AMP事業事務局

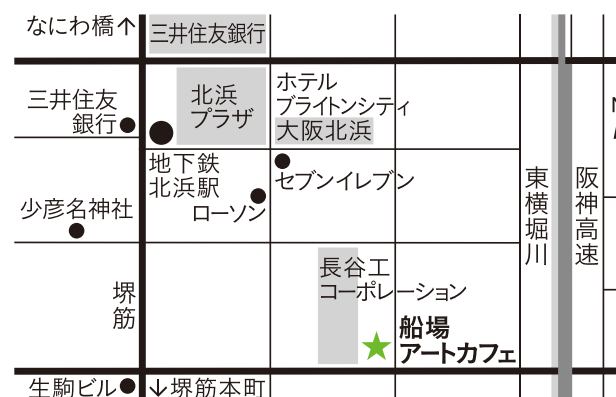
Eメール artsmanagement@lit.osaka-cu.ac.jp

ウェブサイト <http://artsmanage.jp>

TEL 06-6605-2026 [月・水・金 10:00-16:00]

## 船場アートカフェ

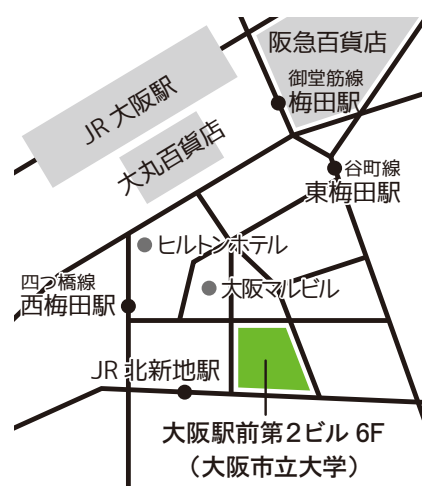
〒541-0046 大阪市中央区平野町1-5-7 辰野平野町ビル地下1階  
辰野ひらのまちギャラリー(南東角の屋外階段から地下へ)  
船場アートカフェは、大阪市立大学・都市研究プラザが運営する現場プラザです。



地下鉄堺筋線「北浜」駅5番出口より徒歩5分

## 大阪市立大学 梅田サテライト

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階



JR東西線「北新地」駅より徒歩3分

JR「大阪」駅より徒歩10分

地下鉄四つ橋線「西梅田」駅より徒歩5分

地下鉄御堂筋線「梅田」駅より徒歩10分

地下鉄谷町線「東梅田」駅より徒歩10分

## フォーラム

本事業のプロジェクト実践講師と受講生が集合し、2015年度の全プログラムの最後に振り返りを行い、今年度の取り組みのなかで新たに発見された知や技術の共有をはかります。

- 日程 | 2016年2月27日(予定)
- 会場 | 調整中
- 出演者 | 森合音、小島剛、松尾真由子、上田假奈代 ほか

- 主催 大阪市立大学
- 共催 NPO法人こえとことばとところの部屋  
NPO法人cobon タチョナプロジェクト
- 協力 NPO法人アーツプロジェクト  
プレーカープロジェクト  
大阪アーツカウンシル  
NPO法人アートNPOリンク
- 後援 大阪府  
大阪市  
在大阪インドネシア共和国総領事館
- 助成 平成27年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」



平成27年度 文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」

# Lectures Seminars Projects

Arts Management for Social Inclusion

大阪市立大学  
社会包摂型アートマネジメント  
プロフェッショナル育成事業

2

# アートの 活用形?



# アートの活用形？

21世紀になって加速化する経済格差や少子高齢化、甚大な自然災害、貧困、病といった社会的課題と向かい合い、アートを媒介として創造的に克服、解決への道筋を見出そうとする社会包摂型アートマネジメントのプロフェッショナルを育成する事業です。①理論的な背景を学ぶ講座、②問題を掘り起こし、実践への仮説を自ら構想するゼミ、③専門家と共に社会包摂の現場で実働するプロジェクト実践、以上3つのコースからなっています。必要な知識を修得しながら、実際に現場で適切に働くことのできる実践力(実戦力)を身につけるためのプログラムです。

本事業の趣旨は人材育成にあります。その働く場所がなくてはなりません。コミュニティに寄り添うアートの草の根的な実践を支えていくための基盤整備を射程に入れ、行政(大阪市経済戦略局文化部、大阪アーツカウンシル)との長期的な連携を図っていきながら、芸術文化以外の領域、セクションとのネットワークづくりに注力していく予定です。

社会包摂(social inclusion)とは、失業や薬物中毒、家庭崩壊など従来型の社会国家施策が機能不全に陥るなかで、社会に広がった多様な社会的問題(社会的排除)を解決しようとする政策課題として、90年代のEUにおいて浮上してきた概念です。孤立、孤独、排斥に押しやられがちな人々に対して、社会とつながるチャンネルを確保し、人々の相互関係や信頼感を回復させることによって、不当な差別や排除のないコミュニティをつくる実践を意味します。チャンネルづくりの媒体としてアートが注目され、アメリカ合衆国や英国でのコミュニティアートやオーストラリアのコミュニティ文化開発といった流れを形成しましたが、政権の交代によって予算が削減されるなど、安定した社会的インフラにはなっていません。日本においては1998年のNPO法の成立以来、意欲的なアートNPOが社会包摂型アートマネジメントに取り組んできました。本事業は、日本における最も先駆的なアートマネジメントを学ぶものです。

## 講座

社会包摂型アートマネジメントの基礎理論を深めると共に、持続可能なアートマネジメントの基盤づくりに必要な知識と技術を学びます。

## +

## ゼミ

アートマネジメントの実務を遂行するにあたって重要な3つの課題に焦点をあて、受講生自らが問題を設定し、データ収集や分析を通して解決に向けたプロセスを共有する場です。討論を重ねることで、新たな方法論を導き出し、実践にフィードバックさせていくことをめざします。

## +

## プロジェクト実践

病院、小学校、高齢化コミュニティ、貧困地域といった現場で、プロフェッショナルのアートマネージャーの指導のもと、豊富な経験の蓄積による知恵・知識・技術を実際のプロジェクトを通して学びます。

## 講座

### ① 社会包摂型アートマネジメント

日時 | 2015年7月1日[水] 19:00-21:00

講師 | 藤野一夫(神戸大学大学院国際文化学研究所教授)

中川真(大阪市立大学大学院文学研究科教授)

——様々な社会的課題と向き合い、「新しい公共」の再構築をめざすアートマネジメントの存在意義や役割について。

### ② 地域リサーチとアートプロジェクト

日時 | 2015年7月29日[水] 19:00-21:00

講師 | 山田創平(京都精華大学人文学部総合人文学科准教授)

——現在の社会が抱える問題を新たな視点から読み解く地域研究のアプローチの手法を通して、アートプロジェクトを再考する。

### ③ 評価：評価の目的と評価指標

日時 | 2015年8月26日[水] 19:00-21:00

講師 | 大澤寅雄(ニッセイ基礎研究所芸術文化プロジェクト室准主任研究員)

——アートの現場における「評価」導入の現状や経緯を振り返りながら、具体的な評価指標の導入可能性について考える。

### ④ 活動継続に向けたファンドレイジング：アート & ヘルス基金

日時 | 2015年9月30日[水] 18:30-20:30

講師 | 岸本幸子(公益財団法人パブリックリソース財団代表理事・専務理事)

——草の根的に活動する社会包摂型アートマネジメントの経済基盤を強化するために、寄付を募って基金を運用する方法を学ぶ。

### ⑤ プランニング：問題提起型アートプロジェクト

日時 | 2015年10月28日[水] 19:00-21:00

講師 | 芹沢高志(P3 art and environment 統括ディレクター)

——予期せぬ展開を想定した有機的なプランニングの方法論と、問題を発見し創造的に乗り越えていくアートの可能性について。

### ⑥ 実施プロセス：連鎖していく活動と課題

日時 | 2015年12月2日[水] 19:00-21:00

講師 | 相澤久美(一般社団法人震災リグイン代表理事)

——震災専門のメディアとして実施する様々な活動から、継続した関係性をつくるプロセスや姿勢について考える。

※すべての講座は船場アートカフェにて行います。

※日程および講師変更する場合がありますので、その都度講座内でお知らせします(1回のみ参加の方は、事前にお問い合わせいただくか、ホームページを確認ください)。

## ゼミ

### ① ファンドレイジング

実施期間 | 2015年10月～[全5回]

ファシリテーター | 雨森信(大阪市立大学文学部特任講師)

——活動基盤の整備に向けて、補助金、助成金、寄付など、多様な資金調達方法について学ぶ。

### ② 評価：評価指標の想定と分析手法

実施期間 | 2015年9月～[全5回]

ファシリテーター | 樋口貞幸(NPO法人アートNPOリンク事務局長／大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員)

——アートプロジェクトの成果を客観的に捉えるための評価指標の作り方や分析手法について学ぶ。

### ③ ポリシーメイキング

実施期間 | 2015年7月～10月[全5回]

ファシリテーター | 中川真(大阪市立大学大学院文学研究科教授)

——②の評価指標と対をなすゼミで、評価を政策に反映し、立案していく過程を学ぶ。

※ゼミを受講希望される方は、必ず講座にも出席ください。  
※日程など詳細は講座にてお知らせいたします。

## インターン制度

プロジェクト実践では連携先である、NPO法人cobon タチヨナプロジェクト、ブレイカープロジェクト、NPO法人こえとことばとこころの部屋(ココルーム)においてインターンを受け入れます。プロジェクト実践のワークショップ以外にも事務局の仕事に従事することで経験値を高めるプログラムです。

### 【インターン | 受講条件】

●2014年度のプロジェクト実践に参加された方、もしくは現場経験1年以上の方が対象となります。希望される方は、講座(3コマ以上)、ゼミ(1コース以上)を受講してください。

### 【インターン | 申し込み方法】

氏名、年齢、職業、連絡先(電話番号/PCメールアドレス)、活動実績、希望されるインターン先を明記の上、6月25日[木]までに問い合わせ先にメールでお申し込みください。  
※定員オーバーした場合は希望に添えない場合もあります。

## プロジェクト実践

### A 医療安全のためのアート&デザインプロジェクト

連携先 | 大阪市立大学医学部附属病院

実施期間 | 2015年9月～2016年2月[全7回]

アーティスト | 井上由季子(グラフィック工芸家)

講師 | 森合音(四国こどもとととの医療センターホスピタルアートディレクター/NPO法人アーツプロジェクトアートディレクター)

——ホスピタルアートとは病院という場に充満する様々な想いをアートという名のフラットな「広場」において語り合い、問題点やニーズを洗い出し、そこに創造性や新たな角度からの視点を持ち込むことで新しい「解」を導きだす取り組みのこと。今回は医療安全的を絞り、現場の職員とグラフィック工芸家・井上由季子氏との対話を通じて楽しみながらクリエイティブな業務改善に取り組む。

### B こども熱帯音楽祭#04

連携先 | NPO法人cobon タチヨナプロジェクト

実施期間 | 2015年7月～9月[全8回]

アーティスト | 梅田哲也(美術家/音楽家)、PIKA☆(音楽家)

講師 | 小島剛(NPO法人cobon タチヨナプロジェクトプログラムディレクター)

——「タチヨナ」は、学校やアートセンター、地域において、子どもたちがアートに触れ体感する芸術体験プログラムを提供している。「こども熱帯音楽祭」が目的とするのは、アーティストと子どもたちが共に創意工夫して音楽を創っていくを通して、様々な課題を創造的に解決していく力を育てていくこと。本プログラムでは、子どもたちの創造性を引き出すために教員や保護者との連携を図り、より柔軟で想像的なマネージメント力を養っていく。

※プロジェクト実践を受講希望される方は、必ず講座・ゼミもご受講ください。  
※日程・実施場所など詳細は講座にてお知らせいたします。



Photo A, B, D | 仲川あい / C | ブレイカープロジェクト

### C 地域に根ざした創造活動拠点の実験 2

連携先 | ブレイカープロジェクト

実施時期 | 2015年8月～2016年2月[全10回]

アーティスト | きむらとしろうじんじん(美術家)ほか

講師 | 松尾真由子(ブレイカープロジェクト事務局長)

——ブレイカープロジェクトは、独自の表現手段を開拓するアーティストと共に地域の人々との関わりをつくりながら、日常のなかに創造の現場を生み出しているアートプロジェクト。空きスペースを活用した創造活動拠点は、アーティストと地域住民が出会い共創する場。本プログラムでは、2015年3月末に閉校となった元小学校を活用し、地域に開かれた作業場をつくっていくプロセスを通して、アートと地域をつないでいく手法を学び、有効な関係性のあり方を考える。

### D 釜ヶ崎オ!ペラ 2

連携先 | NPO法人こえとことばとこころの部屋(ココルーム)

実施時期 | 2015年10月～2016年2月[全10回]

アーティスト | バッ・ニョト(音楽家/インドネシア)、野村誠(音楽家)ほか

講師 | 上田假奈代(NPO法人こえとことばとこころの部屋代表)

——寄せ場(日雇い労働市場)・釜ヶ崎も変化し、高齢者が多く暮らしている。このまちで活動するココルームはカフェや釜ヶ崎芸術大学などによって、様々な人々とのであいをつむぎ、表現と学び合いの場をつくっている。本プログラムでは、インドネシアから音楽家を招聘し、ガムランをベースにした「釜ヶ崎オ!ペラ 2」を創作。人生のひきうけ方を他者と関わりながらみだしていくなかで、アートマネジメントの果たせる役割を考え、その多様性に気づき、手法を学ぶ。